



中島 真弓



動画配信中

新型コロナウイルス感染症の

第3波に対して早急な対応を！

問 同感染症の感染拡大防止のため、明日の笑顔プロジェクトの執行残額を医療や介護スタッフ等のPCR検査実施などの新たな支援策に活用すべきではないか。

健康福祉部長

本市では高齢者施設でのクラスター発生を受け、施設関係者に対してPCR検査に活用できる県の交付金を周知するとともに、県に対しては同検査を行政検査として実施するよう求めた。医療機関への検査等の支援については、県や本市医師会等の関係機関と十分に協議していきたい。

◆コロナ禍における観光振興策

問

鬼滅の刃の聖地として本市が注目されておられ、感染症の収束後、多くの観光客の来訪が期待される。今から市内回遊の仕掛けづくりが必要と考えるがどうか。

産業観光部長

県と連携し、同作品の上映映画館等での観光PRの実施や、聖地の一つとされているあしかがフラワーパークや名草巨石群などに焦点を当てたPR映像を作成し、発信する予定である。今後県や市観光協会、観光施設と連携しながら、時機を捉えた観光振興策を展開していきたい。



藤本 秀樹



動画配信中

SDGsへの理解促進を！

問

SDGsについて学び、親しんでもらうための取り組みとして、市立図書館や生涯学習センター等において関連書籍等の特別展示会を開催してはどうか。

教育長

新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら、可能であれば市立図書館等でSDGsの関連書籍を展示したいと考えている。また、生涯学習課で実施している高等教育連携講座や公民館の学級講座において、SDGsの視点を取り入れた内容を検討していきたい。

◆イノシシ等による被害対策

問

持続可能な農業経営の視点から、鳥獣被害への対策にICTやドローンを導入する考えはあるのか。

産業観光部長

本市では、豚熱対策の一環として令和元年度から赤外線センサー等がついた檻や温度センサー等の貸与を県から受けており、これによりイノシシを複数頭捕獲でき、現場に行かなくとも状況をパソコンで確認できるなどのメリットがある。先進地では、鳥獣の分布や数、周辺環境の調査にドローンを活用している例もあるため、本市でも今後研究していきたい。



西田 智男



動画配信中

市民サービス向上のための押印廃止を！

問

市民サービスの向上や行政手続の簡素化の観点から、積極的に押印廃止に取り組み必要があると考えるが、本市の現状を聞きたい。

総務部長

令和2年11月、本市の全ての行政手続を対象として押印に関する調査を行い、現状を把握したところである。押印廃止に当たり、関係法令の改正等を要するものについては国のガイドラインを踏まえて廃止を進め、本市単独で廃止できるものは速やかに実施していきたい。

◆足利学校アカデミー

問

足利学校アカデミーを継続してきた意義や成果、課題をどのように捉えているのか。また、さらなる充実に向けて今後どのように取り組んでいくのか。

教育次長

同アカデミーは平成9年度に開講して以来、著名な大学教授等の講座により市内外の多くの方々が学ばれており、継続して受講されている方も多いことから、足利学校の自学自習の精神を伝え、広めたと考えている。今後は新たな受講者を増やすため、幅広く多くの方に参加いただける講座内容などを検討していきたい。